



NEWS LETTER

2019年度テーマ：
NEWS 「SDGsでまちの未来をつくる」

【人材育成】2019年KIRPセミナー全4回開催

No.12



KIRPについて

京都地域未来創造センター（KIRP）は、京都府立大学の「知」を活かし、地域の未来を創るための拠点として発足した地域に向けた総合窓口です。共同研究、受託研究等に関するご質問、ご相談があればお気軽にお問い合わせください。

Tel : 075-703-5390
Fax : 075-703-4979
mail : kirpinfo@kpu.ac.jp
HP : <http://www.kpu.ac.jp/>

〒606-8522
京都市左京区下鴨半木町1-5
稲盛記念会館 1階

京都府立大学

京都地域未来創造センター
KYOTO INSTITUTE FOR
REGIONAL PROSPECTS



京都府立大学京都地域未来創造センターでは、自治体職員や企業、NPO等を対象に、幅広い視野から地域の諸課題に対する最新トピックや政策動向を共有するために、2011年度から連続セミナーを開催しています。

今年度の共通テーマは、「SDGsでまちの未来をつくる」です。急速な広がりを見せるSDGs（持続可能な開発目標）ですが、一方で、自治体運営や企業活動、社会課題の解決にどのように活かしていったらいいのかわからないという悩みも聞かれるようになりました。そこで、改めてSDGsの「理念」について学び、それぞれの業務や活動に活かすための「視座」を考える連続セミナーを開催します。住民、行政、企業、大学が一緒になってまちのありたい姿を描くための、「こと」づくり、「もの」づくり、「システム」づくりについて、考えてみませんか。

8/22 第1回 「SDGsと企業社会 —環境と開発のジレンマを解消できるか—

講師：宮本 憲一氏

大阪市立大学名誉教授、滋賀大学元学長

会場：京都府立大学 稲盛記念会館 104教室

質疑応答：聞き手 川勝健志 公共政策学部教授（環境経済学、財政学）

9/2 第2回 「SDGs推進における企業の役割」

講師：関 正雄氏

明治大学経営学部特任教授、損害保険ジャパン日本興亜株式会社CSR室シニア アドバイザー

実践報告者：松原 裕樹氏 ほか

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター 専務理事・事務局長

会場：京都府立大学 合同講義棟3階 第3講義室

10/31 第3回 「サステナブルシティの実践—ポートランドの住民主体のまちづくり（仮）」 オレゴン州ポートランド州立大学公共サービス実践センター連携事業（京都府立大学法人国際化支援事業）

講師：西芝 雅美氏

ポートランド州立大学ハットフィールド行政大学院、行政学部長、教授

実践報告者：森本 健次氏 ほか

株式会社 南山城 代表取締役社長

会場：京都府立大学 京大 歴彩館 小ホール

12~1月第4回【共催】京都府知事x増田寛也本学客員教授対談（主催：本学公共政策学部） 「京都府の地域創生のこれまでと今後」（仮）

12月~2020年1月ごろ開催予定

会場：京都府立大学

12~2月 第5回 「SDGsの視点でまちの未来を構想する—未来都市創造に向けたワークショップ—（仮）」

講師：高木 超氏

慶應義塾大学政策・メディア研究科特任助教、SDGs-SWY共同代表

会場：京都府立大学

NEWS 【受託事業・ACTR】センターの取組

本年度の受託事業とセンターが研究員として関わっているACTRは以下になります

◆受託業務

- ・京都市府市町村振興協会「市町村職員対象海外研修」ヨーロッパ研修
- ・八幡市政策研究型職員提案事業
- ・宇治市協働型まちづくりに関する調査業務

◆ACTR

- ・地域文化財を活用した山間地区コミュニティの維持方策の研究（京都市左京区）
- ・関西文化学術研究都市建設が精華町に与えた効果・影響に関する研究
- ・京都府内の基礎自治体における災害時外国人支援体制の構築のための調査研究（城陽市）
- ・宇治市・西小倉地域（近鉄小倉駅周辺）における市民との協働型まちづくりのあり方検討
- ・産業関連情報の総合的集約とそれを用いた地域産業情報支援および情報発信産業支援サイトのあり方と活用方策（城陽市）

【ACTR】2019年度京都府立大学地域貢献型特別研究(府大ACTR)が決まりました

■ 本学では、京都府内の地域振興や産業・文化の発展等に貢献することを目的として、2004年から地域貢献型特別研究(ACTR)に取り組んでいます。今年度は次の24件の研究が採択されました。今後は本学教員を中心に各地域での調査研究が始まります。

ACTRとは？

ACTRは、Academic Contribution To Region の略で、「地域に貢献する学術研究」を意味します。京都府内の市町村、府内に立地する企業、NPO等から寄せられた地域課題の提案に基づき、本学教員とマッチングが成立した研究に対して、学内外の審査員による審査会を経て決定しています。

過去の研究実績が、地域別、テーマ別で検索できます！

検索

研究テーマ	代表者
地域文化財を活用した山間地区コミュニティの維持方策の研究（京都市左京区）	上杉 准教授（文）
舞鶴地域の高大連携、世代間交流による文化資源を活かした地域振興（舞鶴市）	東 准教授（文）
夜久野末窯跡群を中心とした地域の文化遺産の調査と活用（福知山市）	菱田 教授（文）
京都府産もち米を利用した水あめの開発は京生菓子文化の継承・発展に資する（京都府域）	佐藤 特任専任教授(文)
関西文化学術研究都市建設が精華町に与えた効果・影響に関する研究（精華町）	川勝 教授（公共）
与謝野町の持続可能な行財政マネジメントシステムに関する研究（与謝野町）	川勝 教授（公共）
京都府内の基礎自治体における災害時外国人支援体制の構築のための調査研究（京都府域）	松岡 准教授（公共）
絶滅したと考えられた京都固有在来ブドウ品種‘聚楽’の復活と新たな利用方法の確立（京都府域）	板井 教授（生命）
産業関連情報の総合的集約とそれを用いた地域産業情報支援および情報発信産業支援サイトのあり方と活用方策（城陽市）	岩崎 准教授（生命）
京都府産宇治茶の独自性と優位性を確保・発展させるための茶の生産性及び樹勢データに基づく収量予測の研究（京都府域）	久保 教授（生命）
地域森林資源の継続利用に向けた資源の地理的把握及び施業履歴の可視化とニーズに合う原木供給体制の構築（京都府域）	神代 准教授（生命）
府立大学で育成した「洛いも」の精華町における特産農産物化に向けた安定生産および総合的な利用技術の開発（精華町・長岡京市）	伊達 講師（生命）
京の伝統野菜「九条ネギ」の病害虫総合防除に向けた調査研究（京都府域）	辻 講師（生命）
京丹波町産の一般流通製材と長ビスを用いた新たな木造構法の開発（京丹波町）	田淵 准教授（生命）
精華町における森林ゾーニングと森林管理保全指針の作成（精華町）	長島 准教授（生命）
京都府の水産物の活用による北部地域活性化と子どもの食育（京都府域）	東 教授（生命）
3D+1.5D情報印刷を応用する視覚障害者のための感じる府立植物園の実現（京都府域）	細矢 教授（生命）
19世紀末～20世紀初頭の 아프리카・セーシェル諸島における宮津出身写真師の活動及び作品調査とその成果公開（宮津市）	松田 准教授（生命）
食事の満足度を高める日本料理店の建築環境に関する調査研究（京都府域）	松原 教授（生命）
大堀区における地区防災計画の策定と住民の防災意識の変化の検証（福知山市）	三好 助教（生命）
京都特産農産物の産業振興に向けた成分の優位性に関する分析（城陽市・京都府域）	森本 助教（生命）
食品ロス削減に向けた社会実験研究ー精華町の実態を踏まえた効果的な施策に向けて（精華町）	山川 教授（生命）
宇治市・西小倉地域（近鉄小倉駅周辺）における市民との協働型まちづくりのあり方検討（宇治市）	青山 統括マネージャー (京都地域未来創造センター)
ICOM京都大会2019に向けたVirtual Field Museum of Kyotoの開発（京都府域）	椎名 教授（生命）

(文)文学部 (公)公共政策学部 (生命)生命環境科学研究科

開催レポート

6/7(金)「水源の里・自然大学」



ヒメザゼンソウ

6月7日に、綾部市奥上林の水源の里・光野で、第1回水源の里・自然大学（あやべ水源の里連絡協議会と京都府立大学の共催）を開講し、綾部市内外から約60名の参加者がありました。参加者には地元上林小中学校の生徒さんも加わり、絶滅寸前種であるヒメザゼンソウの現地見学を行いました。ヒメザゼンソウを間近で観察したり、写真に収めたりされていました。その後、奥上林公民館で武田征士先生（生命環境科学研究科准教授）から「自然に埋もれる地域の宝ーヒメザゼンソウの花ってどんなの？」と題してヒメザゼンソウの詳しい生態に関する講演を聞き、熱心に質問をされていました。今後、自然大学では、夏から秋にかけて市志・老富・古屋の水源の里集落を回りながら、4回にわたって府大教員による連続講座を開催していきます。